



パルシステムの放射能検査は 国より厳しい「自主基準」です。

パルシステムでは、2011年3月の事故直後から組合員に対して放射能の情報を提供するため、自前の商品検査センターで放射能検査を行っています。また放射能検査以外にも、アレルギー検査、微生物検査、残留薬剤検査も行っていきます。

パルシステムの精密な放射能検査

パルシステムの放射能検査では、精密な放射能検査が可能な「ゲルマニウム半導体検出器」2台を使用しています。測定に時間がかかるものの、放射性ヨウ素やセシウムを低濃度まで測定することが可能です。一方、民間や行政の検査では簡易測定器を使っているところもあります。短時間で検査ができますが、精度が低いので低濃度の放射能は検出できません。

検査結果を見る際には「検出限界値」が重要です。これは分析機関がそれぞれ設定するもので、この値を基準に「不検出」「検出」が決まります。たとえば検出限界値を「25Bq/kg」に設定した場合、検査した食品が24Bq/kgであっても「検出なし」となってしまいます。パルシステムでは一般食品の検出限界値を「3Bq/kg」に設定しています。検査データを見る際には検出結果だけでなく、その検査方法や精度にまで目を向けることが大切なのです。

組合員からの要望で実現

原発事故から時間が経ち、民間では独自の放射能検査を縮小したり中止したりするところも出てきており、放射能の情報にふれる機会が少なくなってきています。しかし、パルシステムでは放射能検査を続け、結果を定期的に公表しています。「それは組合員からの要望でもありますし、産直産地がきちんと対策を行っていることを数値で示すことも、私たちの使命だからです」と商品検査センターを統

パルシステムの自主基準（独自ガイドライン）

パルシステムでは食品の放射能について**自主基準（独自ガイドライン）**を設定しています。

自主基準（独自ガイドライン）（セシウム134、137の合計） 2014年10月より現行基準（単位Bq/kg）		国の規格基準	
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	水、飲料茶	10
飲料、乳製品、米		乳幼児用食品、牛乳	50
青果類（きのこ類除く）、肉類、卵、魚介類、 その他食品、きのこ類（しいたけ除く）	25	一般食品	100
しいたけ	100		

※乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。

※乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの「赤ちゃん・キッズOK食材」掲載商品。

括する志賀祐子職員は話します。

昨年度の放射能検査数は3943検体でした。検出されやすいとされる食品は、検査頻度を上げ慎重に検査しています。パルシステムでは、国の基準より厳しい自主基準（※下表）を定めており、基準値を超えるものは出荷していません。加えて2014年には乳幼児食品の検出限界値を1Bq/kgに下げました。検出限界値を引き下げたため測定には時間がかかりますが、何よりも小さなお子さんをもつ組合員からの強い要望で実現したことです。

検査結果を見て、納得して選んでほしい

「放射能に対する考え方や基準は組合員一人ひとりで違います。漠然と不安を抱くのではなく、検査の具体的な数値を見て、納得して選んでほしいと思っています」

そう話す志賀職員自身も、原発事故直後は子どもに何を食べさせていいのか悩みました。「当時は正しい情報が得られなくて不安でした。今は検査データを確認しながら、自分のものさしで食品を選ぶことができます。事故直後に高い放射能が検出されていた食品も、最近ではほとんど検出がみられなくなっています。」

商品検査センターでは、アレルギー検査、微生物検査、残留薬剤検査なども実施しています。「これからも組合員の安心のために幅広く検査に取り組んでいきます。ウェブで公表している検査結果を、ご自身でぜひ確認してみてください」

検出限界値

検出限界 （ヨウ素131、セシウム134、137それぞれ） 2016年4月1日から新基準に変更（単位Bq/kg）	
乳幼児用食品	1
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、 肉類、卵、魚介類、その他食品	3

●ブルーツyumyumセットの果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。



昨年7月にリニューアルオープンしたパルシステムの商品検査センター。放射能検査など各検査の様子を見学できる

放射能検査状況について

2019年度の検査数(カッコ内は検出件数)
2019年7月3日現在

総計: 1047(6) 不検出率: 99.4%

2018年度の検査数 総計: 3943(47) 不検出率 98.8%

青果	166(0)	2018年度、れんこん(6.4Bq/kg)・甘夏(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	8(6)	生しいたけ(4.6~10Bq/kg)と、2018年度は岩手県産乾しいたけ(5.1Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	24(0)	2018年度も放射能の検出はありません。
米・米飯類	0(0)	2018年産米の検査は、28産地30検体の玄米で検査し、栃木こしひかり(4.4Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。白米で再検査したところ不検出でした。 ※放射能の多くはぬか部分に蓄積します。検出された栃木こしひかりは白米でのお届けとなります。

牛乳、肉、卵	31(0)	産地ごとに定期的に検査しており、2018年度も放射能の検出はありません。
魚介類	64(0)	2018年度も放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	31(0)	2018年度も放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	92(0)	2018年度、検出下限値1Bq/kgで検査を行い、冷凍さつまいもスティック(1.2Bq/kg)から自主基準内で検出されました。2017年度産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)(1.2Bq/kg)から自主基準内で検出されました。
その他加工食品	631(0)	2017年度、サプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出されましたが、2018年度は検出されませんでした。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



●過去の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。
●インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川ゆめコープ・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき
パルシステム
問合せセンター
☎0120-868-014
月～金曜日: 9時～20時
土曜日: 9時～17時
※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨
甲府センター ☎0120-28-5891
西桂センター ☎0120-32-1061
一宮センター ☎0120-21-9898
パルシステム群馬
高崎センター ☎0120-60-5118
渋川センター ☎0120-36-3315
東毛センター ☎0120-63-3735
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。